

5年 社会 ワークシート④「高い土地のくらし」

氏名()

【めあて】高い土地に住む人々は、どのようにくふうをしてくらしているのでしょうか。

1 高地にある群馬県つまごい嬭恋村ではどのような産業がさかんなのだろうか。

資料集22～23ページ、教科書32～39ページをよく読んで、のうぎよう農業やかんこう観光の産業について調べてまとめよう。

農 業	
観 光	

2 つまごい嬭恋村の人々は、どのようにして今のような土地にしてきたのだろう。

教科書34～35ページをよく読んで調べよう。

3 資料集23ページの「資料ウォッチ」

②のキャベツのさいばいに適した気温のはばを赤でぬろう。

また、「まとめ」に言葉を書きこんで声に出して読もう。

4 高い土地に住む人々のくらしや産業にはどのようにくふうがあるか、「自然条じょうけん件」という言葉を使ってまとめよう。

5年 社会 ワークシート④

氏名()

解答例(答えの例)

【めあて】高い土地に住む人々は、どのようにふうをしてくらしているのでしょうか。

- 1 高地にある群馬県つまごい嬭恋村ではどのような産業がさかんなのだろうか。
- 資料集22-23ページ、教科書32~39ページをよく読んで、のうぎよう農業やかんこう観光の産業について調べてまとめよう。

農 業	○つまごい嬭恋村ではキャベツやレタスなどの高原野菜のさいばいがさかん。 ○きこうすずしい気候を生かして、ほかの産地の生産が少ない夏から秋に、新鮮で安全な野菜を収かくできるようにくふうをしている。 ○収かくしたキャベツは、予冷庫で冷やしてから、新じょうたいせんな状態で全国に運ぶ。 ○すずしい気候と広い土地は、牛の飼育しいくにも適てきしているため、らく農も行われている。
観 光	○かんこうきゃく観光客は、ハイキングやマラソン、自転車レースなど、たくさんの行事や活動を楽しんでいる。 ○温泉が多くあり、また、スキーやトレッキング、キャンプなど、地形を生かした観光業にも力を入れている。

- 2 つまごい嬭恋村の人々は、どのようにして今のような土地にしてきたのだろう。

教科書34-35ページをよく読んで調べよう。

○火山ばいのえいきょうから、土地がやせていて、なかなか作物が育たなかったが、すずしい気候を生かしたさいばい方法がくふうされ、明治時代の終わりごろからキャベツづくりが始められた。

- 3 資料集23ページの「資料ウオッチ」
- ②のキャベツのさいばいに適した気温のはばを赤でぬろう。
- また、「まとめ」に言葉を書きこんで声に出して読もう。
- 4 高い土地に住む人々のくらしや産業にはどのようにふうがあるか、「自然条じょうけん件」
という言葉を使ってまとめよう。

○嬭恋村は1年を通して気温がひく低い。この自然条件を生かして、他の地いきでは育てにくい作物を育てる農業を行ったり、観光客をふやしたりしている。